

## 総合的な学習の時間 「だれもが関わり合えるように」

箱根町立箱根の森小学校



### 単元（題材）目標

- 様々な障がいについて理解を深め、お互いを理解し尊重できる心を育てる。
- 自分が関心をもったことから課題を設定し、本やインターネットなどで調べることができる。
- 体験したことや調べたことを、箱根町の観光に結びつけて考えることができる。

### （1）実施時期

9月中旬から12月中旬

### （2）対象（学年等・人数）

第4学年 35名

### （3）指導者（教諭・外部講師等）

本校教諭：第4学年所属1名、森の子級所属1名

外部講師：「点字サークルはこね」7名、「手話サークルドリーム」2名

### （4）実施内容

#### ①オリエンテーション

- ・視覚障がい、聴覚障がい、高齢者などいろいろな立場の人たちについて知っていることを出し合う。

#### ②視覚障がいについて学習する

- ・点字や点字ブロック、視覚障がい者のために工夫されていることなどについて調べる。
- ・点字体験（読み・書き）
- ・アイマスク体験
- ・目の不自由な方からお話を聞く。

#### ③聴覚障がいについて学習する。

- ・耳の不自由な人について
- ・耳の不自由な人とのコミュニケーションの方法
- ・手話であいさつ
- ・指文字で自己紹介

#### ④学習したことを、箱根町の観光に結びつけて考える。

#### ⑤まとめ

### （5）成果

- 視覚障がいや聴覚障がいの方に対する理解を深めることができた。
- 授業の終わりの挨拶を手話で行ったとき、「音がない」というつぶやきが子供たちから出たように、実際に体験したり、お話を聞いたりすることにより、本やインターネットで調べたことが実感を伴ったものになった。

### （6）その他

- 毎月1回、全校で実施している音楽朝会では、県の手話月間に合わせて5月は手話ソングを歌うようにしている。毎年継続していることで、児童に、手話に対する親しみが出てきている。